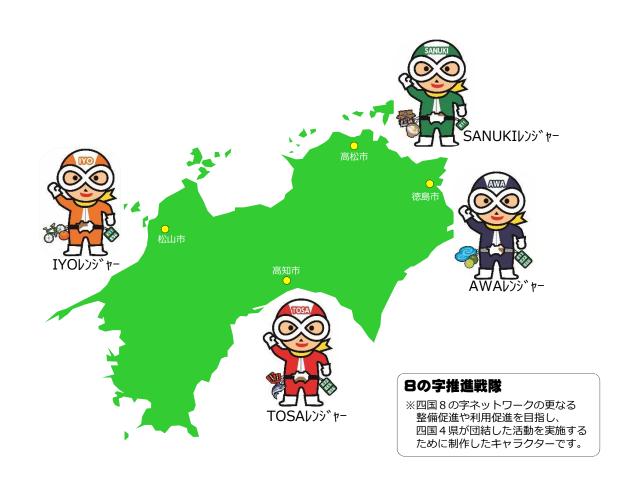
四国8の字ネットワーク

提言資料



四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会 (四国経済連合会・徳島県・香川県・愛媛県・高知県)

高速道路「四国8の字ネットワーク」は四国創生の原動力

- ◆ 四国4県は他地域と比べ宿泊者数が少なく、特にミッシングリンク区間を 多く抱える徳島県及び高知県は「都道府県別延べ宿泊者数(2023年)」に おいて、それぞれ46位、38位となっており、観光需要を十分取り込むこと ができていない状況。
- ◆ 四国の西南・東南地域は、豊かな自然や魅力的な観光資源が豊富にあるが、 交通の不便さゆえに、地域の持つポテンシャルを十分に発揮できていない。
- ◆ 地域資源を最大限活用し四国創生を実現するためには、ミッシングリンク 区間の高速道路を早急に整備し、アクセス面のハンディを大幅に軽減する 必要がある。







高規格道路ネットワークの早期整備について 四国8の字ネットワーク 高松自動車道 徳島自動車道 ▶ 神戸淡路鳴門自動車道 E11 約8割が暫定2車線 E28 徳島南部自動車道 阿南安芸自動車道 徳島阿波おどり空港 「美波・海部間」 徳島JCT 四国唯一の未事業化区間 R4. 3開通 脇町 徳島自動車道 徳島沖洲 🛈 徳島港 R3. 3開通 池田PA E32 徳島津田 4車線化 4車線化 徳島小松島港 事業中 事業中 R3.3完成 R6.3 新規事業化 (7.7km)川之江東JCT (4.8km) (7.5km)(4.8km)ノグリ ストック効果の発現(徳島JCT~徳島津田IC間開通) 桑野道路 ノンク区 1-16 関西方面 中国方面 1820 ⚠-徳島JCT 福井道路 蕳 マリンピア沖洲 【R4.3 開通 複合一貫輸送ターミナル 徳島県分約6 地価調査等の結果 全国の高速道路網に直結! (R4.3) R3.3 開通 第2弾 区間 2 第1弾 k 都市計画決定済 m 津田海岸町 中島津田IC 活性化IC) 海部野根道路 第1弾 企業用地 全14区画 R3 R 6 **R3** R 6 マリンピア沖洲 津田海岸町 開通を見据え企業用地を造成し、ストック効果を最大化 注波による寸断箇所(国道55号) 津波浸水想定区域 高規格道路を核とした防災機能強化 所要時間の短縮による効果 〇所要時間の変化 <県南(高知県境)~鳴門JCT>] 津波浸水想定区域 県南部の道路事情 国道55号浸水箇所 •幹線道路は国道55号のみ 約60分短縮 約130分 沿岸部は津波で浸水 美波 ⇒能登半島(幹線3本)より脆弱 阿波さつき 阿波尾鶏 海部郡 最大津波高21m (美波町) 牟岐 25年連続 R5から養殖試験を開始 地鶏肉出荷量全国1位 速達性・定時性の向上→販路拡大・産業の活性化 ☆高台整備の推進(美波町) マリンレジャー こども園 防災公園 南海トラフ巨大地震を迎え撃つ 津波影響開始時間 4 分 防災拠点の整備推進! (海陽町) 可南安芸自動車道の整備により迅速な救護や早期の復興が可能 豊富な観光資源を有する県南部へのアクセス性が向上

「ひと・モノ」交流拡大を支える高松自動車道

香川県

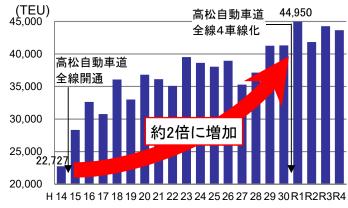


GW中の大型車交通量の変化(R元とR6比較)

出典: NEXCO西日本報道発表 物流を担う大型車の ニーズに応える! 高松道 15%増!

地理院タイル(白地図)を加工して作成

国際コンテナ貨物量が増加!



▲高松港コンテナターミナルの国際コンテナ貨物量の推移 出典)香川県調べ (国際フィーダー航路、空コンテナ含む)

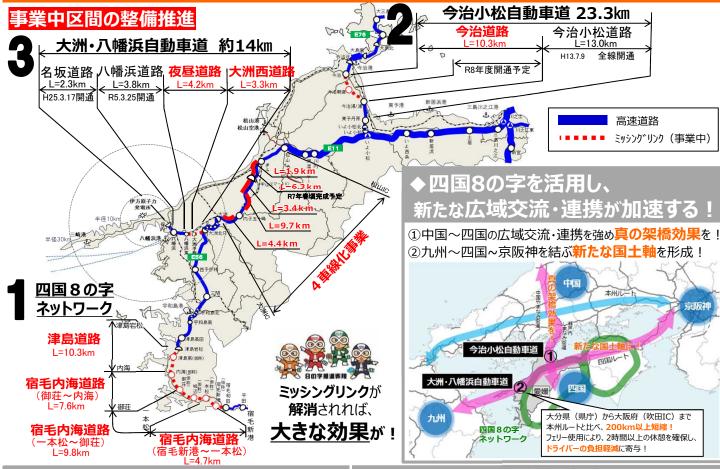
物流生産性向上による地域ブランドカの強化! ICE

IC周辺工業団地への企業立地及び物流の促進へ!



地域経済を支え、「命の道」となる高速道路の整備を!

愛媛県



▶地域の安全・安心が加速する!

■ 高速道路の整備により、陸の孤島の解消を!

- ○津波浸水等により、唯一の幹線道路 (国道56号) が寸断され、 陸の孤島が発生する恐れ。
- ○高速道路整備と同時に「災害に強いまちづくり」を推進。



津波浸水想定区域外の高台に「防災・交流施設」を計画中! 【愛南町】 ① 平常時: 高速道路の休憩施設を兼ねた交流の場に ②災害時: 津波浸水の影響を受けない防災拠点に 災害時の利用イメージ (防災拠点) 4芝生広境 (物資集積・配布、炊き出し等) 1.多機能型休憩脇段 (情報提供施設、災害対策機能) (情報提供施設、災害対策機能) 3.駐車場 (過路器間 投源・投資車両の終誌、衛田活動減点) 3.駐車場 (小型ヘリボート) 5.緊急連絡路 (近海防災脱点と連携)

◆地場産業の振興が加速する!

■ 高速道路の延伸とともに、養殖真鯛の販路が拡大!



■ 平成30年7月豪雨でも高速道路が「命の道」に!

○南予地方の主要な交通網が寸断した際、 高速道路がいち早く 交通機能を確保し、中心的役割を果たした。





4車線化によりネットワークの 代替性確保や強靭化



被災6日後



▲4車線化による効果 (発災時の通行確保と早期の通行再開)

の整備

ミッシングリンクの解消及び暫定2車線区間の4車線化により地域防災力が向上

四国横断自動車道

